

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版
(仮称)精華町防災受援施設■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_追補版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.3
Q1 室内環境			0.40		0	3.2
1 音環境		3.0	0.15		-	3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40		-	
1.2 遮音		3.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00		-	
2 界壁遮音性能			-		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-	
1.3 吸音		3.0	0.20		-	
2 温熱環境		3.1	0.35		-	3.1
2.1 室温制御		3.3	0.50		-	
1 室温		3.0	0.38		-	
2 外皮性能		3.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性	各室ごとの個別空調方式	4.0	0.38		-	
2.2 湿度制御		3.0	0.20		-	
2.3 空調方式		3.0	0.30		-	
3 光・視環境		3.0	0.25		-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30		-	
1 昼光率		3.0	0.60		-	
2 方位別開口			-		-	
3 昼光利用設備		3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策			-		-	
1 昼光制御			-		-	
3.3 照度		3.0	0.20		-	
3.4 照明制御		3.0	0.50		-	
4 空気質環境		3.9	0.25		-	3.9
4.1 発生源対策		4.0	0.50		-	
1 化学汚染物質	建築材料F☆☆☆☆を使用。	4.0	1.00		-	
4.2 換気		3.6	0.30		-	
1 換気量		3.0	0.33		-	
2 自然換気性能	ALVSにより自然換気有効開口面積が居室床面積の1/20	4.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮	周辺道路から6m以上離れている。	4.0	0.33		-	
4.3 運用管理		4.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御	屋外の所定の場所以外禁煙	5.0	0.50		-	
Q2 サイバース性能			0.30		0	3.5
1 機能性		3.1	0.40		-	3.1
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-	
1 広さ・収納性			-		-	
2 高度情報通信設備対応			-		-	
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30		-	
1 広さ感・景観			-		-	
2 リフレッシュスペース			-		-	
3 内装計画		3.0	1.00		-	
1.3 維持管理		3.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計	床材は防汚性の高い材料を採用。外部金属部分はメッキ処理	4.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性		3.8	0.30		-	3.8
2.1 耐震・免震・制震・制振		4.6	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	構造体[I類]	5.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔		2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔		3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	硬質塩化ビニル管等	4.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性		3.4	0.20		-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備	節水型器具を設置、マンホールトイレを設置	5.0	0.20		-	
3 電気設備		3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-	

3	対応性・更新性		3.6	0.30		-	3.6
3.1	空間のゆとり		5.0	0.30		-	
1	1 階高のゆとり	-		-		-	
2	2 空間の形状・自由さ	S造なので耐力壁がない	5.0	1.00		-	
3.2	荷重のゆとり		3.0	0.30		-	
3.3	設備の更新性		3.0	0.40		-	
1	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20		-	
2	2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20		-	
3	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10		-	
4	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10		-	
5	5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20		-	
6	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20		-	
Q3	Q3 室外環境(敷地内)		3.0	0.30		-	3.3
1	1 生物環境の保全と創出	-	3.0	0.30		-	3.0
2	2 まちなみ・景観への配慮	-	3.0	0.40		-	3.0
3	3 地域性・アメニティへの配慮		4.0	0.30		-	4.0
3.1	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	内装に京都府内産木材を使用、東屋、夜間照明の設置、地域に開放された展示室・多目的運動スペースを設けている。	5.0	0.50		-	
3.2	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50		-	
LR	LR 建築物の環境負荷低減性						2.8
LR1	LR1 エネルギー		3.0	0.40		-	2.6
1	1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.93	3.5	0.20		-	3.5
2	2 自然エネルギー利用	-	3.0	0.10		-	3.0
3	3 設備システムの高効率化		2.1	0.50		-	2.1
	集合住宅以外への評価		2.1	1.00		-	
	集合住宅の評価					-	
4	4 効率的運用		3.0	0.20		-	3.0
	集合住宅以外への評価		3.0	1.00		-	
4.1	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50		-	
4.2	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価					-	
4.1	4.1 モニタリング	-				-	
4.2	4.2 運用管理体制	-				-	
LR2	LR2 資源・マテリアル		3.0	0.30		-	2.9
1	1 水資源保護		3.4	0.20		-	3.4
1.1	1.1 節水	省水型機器の設置	4.0	0.40		-	
1.2	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.70		-	
2	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.30		-	
2	2 非再生性資源の使用量削減		2.7	0.60		-	2.7
2.1	2.1 材料使用量の削減	-	3.0	0.10		-	
2.2	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.20		-	
2.3	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20		-	
2.5	2.5 持続可能な森林から産出された木材	京都府内産木材の利用	4.0	0.10		-	
2.6	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	対象外	3.0	0.20		-	
3	3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20		-	3.0
3.1	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30		-	
3.2	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70		-	
1	1 消火剤	-	-	-		-	
2	2 発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.50		-	
3	3 冷媒	-	3.0	0.50		-	
LR3	LR3 敷地外環境		3.0	0.30		-	2.9
1	1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率87%	3.5	0.33		-	3.5
2	2 地域環境への配慮		2.9	0.33		-	2.9
2.1	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25		-	
2.2	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50		-	
2.3	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25		-	
1	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25		-	
2	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25		-	
3	3 交通負荷抑制	駐車場の導入路を複数箇所設ける	4.0	0.25		-	
4	4 廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25		-	
3	3 周辺環境への配慮		2.4	0.33		-	2.4
3.1	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1	1 騒音	-	3.0	1.00		-	
2	2 振動	-	-	-		-	
3	3 悪臭	-	-	-		-	
3.2	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		1.6	0.40		-	
1	1 風害の抑制	-	1.0	0.70		-	
2	2 砂塵の抑制	対象外				-	
3	3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30		-	
3.3	3.3 光害の抑制		3.0	0.20		-	
1	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.70		-	
2	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30		-	

CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 追補版

(仮称)精華町防災受援施設

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	7.0	-	○	○	-	-	○	-	-	○	-	○	○	○	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	6.0	-	-	○	○	-	-	○	-	-	○	-	○	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	5.0	5.0	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	8.0	-	2.0	-	1.0	-	1.0	1.0	1.0	1.0	-	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	-	2.0	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	5.0	-	-	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	10.0	-	2.0	3.0	1.0	2.0	-	-	-	2.0	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	8.0	-	-	1.0	3.0	3.0	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	3.0	-	-	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0	-	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)			
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床	
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC	η AH	
星光率	1.5%				
自然換気有効開口面積率	5.0%				

3.1.1 星光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

3 設備システムの高効率化

非住宅部分

集合住宅の評価

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

執務スペース	0.01 /人	病床	0.01 /床	シングル	0.01 ツイン	0.01	
コンセント容量	0.0 VA/m ²						
天井高	0 m						
リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%				
想定耐用年数	0 年						
想定必要間隔	0 年						
想定必要間隔	0 年						
想定必要間隔	0 年						
階高	3.9 m						
壁長さ比率	0.0%						
床荷重	2900・35 N/m ²						
外構緑化指数	15%	建物緑化指数	0%				
空地率	95%	水平投影面積率	15%	地表面対策面積率	21%	舗装面積率	30%
BPI/BPI _m	0.93	断熱等性能等級	対象外 相当				
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年m ²	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%		
		通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%		
		太陽光	5.0kW	太陽熱等	0.0kW	蓄電池	0.0kW
BEI/BEI _m	再エネ有	0.83	無	0.85	オフサイト再エネ有	0.30	-
一次エネルギー削減率	再エネ有		無				-
雨水利用率	0.0%						
特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-		
使用比率	0.0%						
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)					
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)					
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)					

見付面積比	#DIV/0!	隣棟間隔指標Rw	0.40	-	-	-	-
地表面対策面積率	43.0%	屋根面対策面積率	0.0%	外壁面対策面積率	0.0%	-	-
見付面積Sb	40.000m ²	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	0 m	基準高さHb	450 m	-	-
緑地	m ²	水面	m ²	保水性対策面	m ²	高反射対策面	m ²
-	-	-	-	再帰性反射対策面	m ²	-	-